

ゴミ投棄対策として防止柵及びごみよけトリーを設置しました。(令和6年3月)

奈良県生駒郡斑鳩町^{いかるがちょう}に所在する野山^{のやま}国有林には「斑鳩^{こじ}の里法隆寺古事の森」〈注〉が設定されていますが、都市近郊林によく見られるゴミ投棄が多いことから、普及啓発イベントして“未来へ森をつなごう森林クリーン活動”と銘打ちボランティアを募集し、令和5年12月7日(木)にゴミ拾いを行いました。

その一方で、せっかくクリーン(きれい)にしながら再びゴミが投棄されれば、元の木阿弥になってしまうため、令和6年2月13日(火)と16日(金)に防止柵及びごみよけトリー【左下写真】を設置し、不法投棄防止に努めました。

また、橿原市に所在する大和三山の一つである耳成山^{みみなしやま}国有林においても、周囲が道路という立地からゴミ投棄が多く、2月16日(金)にごみよけトリーを設置し、不法投棄の注意喚起【右下写真】を行っています。

なお、大和三山(耳成山^{かぐやま}・香久山^{うねびやま}・畝傍山)は、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原」の構成資産に含まれており、その登録に向けてはクリーン(きれい)も大切な要件になってくると思いますので、橿原市役所に事務局を置く「大和三山風景林協議会」とも連携・協力を図りながら、対応を検討していきたいと考えています。

注：古事の森

伝統的木造建築物を後世に伝えていくため、200~400年かけて大木を育て、良質な修復・再建用材を確保することを目的に設定している森林です。また、奈良市に所在する地獄谷^{じごくだに}国有林にも「春日奥山古事の森」が設定されています。



(野山国有林設置の様子)



(耳成山国有林の設置の様子)